

重点課題	方策	自己評価		改善策	学校関係者評価	
		評価	達成状況		評価	ご意見
I	わかりやすい授業	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校力向上拠点校事業等を通して、【粘り強さ】と【振り返り】に力点をおいした授業研究を進めることができた。</li> <li>「授業はわかりやすいかどうか」との問いには、生徒は80%、教員は91%が肯定的な評価であったが、保護者は62%に留まった。要因は、必ずしも「わかりやすさ」と成績が直結していないこと、定期テスト、課題テスト等の結果に差があること等が考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善を図るために、振り返り等を利用して授業の理解度を個別に把握することに努める。</li> <li>小単元や単元ごとに復習・まとめの時間を確保し、学習内容の定着を図る。</li> <li>粘り強く学習を進めることができるよう、生徒の理解度に合わせてヒントを提示したり、ペア学習やグループ学習など生徒同士で学び合える学習形態を取り入れたりする。</li> <li>テスト前には、改めて学習の進め方等を指導する。</li> <li>引き続き、ICT機器の効果的な利活用について、情報共有を進める。</li> <li>タブレット端末の使用が、効果があると思われる場面を積極的に設定する。</li> <li>教科の授業以外でも活用できる場面を研究する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>きめ細やかな対応は将来生徒の役に立つ。丁寧な対応が素晴らしい。</li> <li>様々な教科にPCタブレット等を活用し、生徒の理解力を高める工夫した授業が実施できている。</li> <li>わかりやすい授業の積み重ねが学力向上につながると思う。新鮮でメリハリのある授業をお願いしたい。</li> </ul>
	ICT機器の使用		<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修でタブレット端末に関する研修を実施したほか、活用方法について情報交換も行い、ICT機器の利活用が進んだ。</li> <li>ICT機器の活用について、教員は概ね肯定的な評価であったが、生徒の肯定的な評価は73%であった。教員や教科間での使用頻度に差があること、個人のタブレット端末の使用場面が少ないと感じていることが推察できる。</li> </ul>			
II	魅力ある人づくり	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>【先生は頑張りを認めているか】との問いに、生徒、保護者ともに肯定的評価が90%を超えている。学校全体でPBSを推進した結果だと考えられる。</li> <li>【適切なあいさつや言葉遣いができるか】についても生徒の88%、保護者の86%で肯定的あり、高い評価を得ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、学校全体でPBSに取り組む。</li> <li>「あいさつ」については、生徒会等と連携するほか、PBSの視点を取り入れ、さらに高い評価が得られるようにしたい。</li> <li>定期的なアンケートを実施するほか、常に傾聴的な態度で接することができるよう、研修を深める。</li> <li>より安心した学校生活を送るために、生徒同士が温かい言葉が交わることができるように、自尊感情を育てる授業について研究する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶はよくできている。普通の指導が行き届いているということだ。</li> <li>子供について、良好な人間関係ができており、意欲的な学校生活が送れていると捉えられる。</li> <li>一人で悩まないよう同級生・先生の内面的なフォローをお願いしたい。</li> </ul>
	好ましい人間関係づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>【困ったときに相談できる(雰囲気がある)か】との問いに保護者は89%、生徒は79%が肯定的であった。日々の丁寧な対応が高い評価につながったと考えている。</li> <li>【いじめや差別のない学校づくり】については保護者は89%、生徒は80%が肯定的であった。</li> </ul>			
III	安全安心な学校	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>【相談した際の対応】について、生徒の95%、保護者の90%が肯定的である。教員が丁寧、素早く対応していると考えられる。</li> <li>【施設の管理】【防災の知識】についても、生徒の90%以上が肯定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと綿密な連携を取り、今の取組を続ける。</li> <li>安全点検を強化し、危険箇所の早期発見、早期対応を行う。</li> <li>学校の取組の発信方法、時期等を改善し、より多くの方が参加できるよう工夫する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全、安心は基本なので引き続き素早い対応をお願いしたい。</li> <li>学校協力者を回覧板で募集していたので、今後どのように進むか楽しみである。地域とともにある学校をぜひ目指してほしい。</li> </ul>
	地域とともにある学校		<ul style="list-style-type: none"> <li>【保護者の意見を取り入れているか】【情報を公開しているか】との問いに保護者の95%以上が、肯定的な評価であった。学校、保護者、地域が一体となった学校づくりが評価されたと考えている。</li> </ul>			
IV	働き方改革の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙媒体での文書配布の削減、マチコミ、HPに加えてFormsの積極的活用により学校からの通知・案内の作成及びアンケートの集計にかかる時間が大幅に削減されている。</li> <li>教職員の時間外在校等時間の縮減については、目標が達成できたのは8月と12月であり課題が残る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>欠席、遅刻の連絡についてもマチコミの利用を認めるほか、Forms等の活用を積極的に進め、紙媒体の一層の削減に努める。</li> <li>部活動も含めたすべての教育活動について点検を進め、時間外在校等時間の削減に努める。</li> <li>年休等の計画的な消化も推進する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>マチコミの活用は保護者にとっても有益である。</li> <li>先生方の負担軽減と事務の効率アップに取り組んでほしい。</li> </ul>

I.魅力ある授業づくり II.魅力ある人と関係づくり III.保護者・地域とともにある学校づくり IV.働き方改革の推進

評価：A.満足できる B.ほぼ満足できる C.あまり満足できない D.満足できない